東日本大震災　宮古市の記録　第2巻（下）記憶伝承編　目　次

◆巻頭写真……013

序……015　神田より子

はじめに……015
本報告の概要……015
第1部　各地域における東日本大震災……016
A　田老地域……016
B　宮古地域……016
C　重茂地域……017
第2部　各分野での震災後の取り組み……017
(1)　医療、DMATの活動、福祉、保育……017
(2)　災害救助と支援体制、災害廃棄物の処理……017
(3)　ボランティア活動、自治体の交流、観光復興、宗教団体の取り組み、外国人の被災体験……018
(4)　被災した芸能と復活……018
(5)　震災と暮らし……019
(6)　海外メディアが伝えた東日本大震災の報道……019

第1部　各地域における東日本大震災

A　田老地域

第1章　「津波太郎」―まちの復興と生活の復興　伊藤　純

はじめに……022
1　防災の町をめざして……022
2　発災直後と避難……024
3　教訓と実際……029
4　摂待地区の状況……032
5　避難所から仮設住宅への入居……033
6　復興へ向けた道筋……034
7　復興を支える田老の漁業……038
8　田老の復興とその課題……041

第2章　避難生活と心のケア―田老での聞き取り調査から―　神田竜浩

はじめに……046
1　地震発生と避難……047
2　避難所での生活……048
3　仮設住宅での生活と心のケア……049
最後に……051

第3章　田老地域における支援体制　神田より子

はじめに……053
1　田老総合事務所の被災時とそれ以降の取り組み……053
2　グリーンピアでの3月11日以降……060
3　避難所をグリーンピアに集中……063

第4章　田老地域の仮設での生活　神田より子

はじめに……068
1　仮設住宅に移って以降……068
2　田老仮設商店街（通称・たろちゃんハウス）……070
3　田老仮設保育所……075
4　田老郵便局……077
5　仮設での暮らし……079
6　街づくり協議会……084

第5章　地域のために　神田より子

はじめに……086
1　仮設の生活と自治会について……086
2　経歴……087
3　家のこと、兄弟のこと……088

第6章　個人墓地と海嘯碑　神田より子

はじめに……090
1　常運寺と慰霊の行事……090
2　個人の墓地にある海嘯碑……093
(1)　小林家……093
(2)　田畑家……094
(3)　木村家……096
まとめにかえて―家の継承と津波―……099

第7章　NPO法人立ち上がるぞ！宮古市田老　大棒秀一

1　序として　―NPO法人立ち上がるぞ！宮古市田老の成り立ち―……100
2　震災とNPO法人立ち上がるぞ！宮古市田老のかかわり……100
3　「津波防災都市宣言」と宮古市の現状……101
4　「津波防災の町」宣言をした田老の町に関する津波対策の検証……106
5　復興まちづくり検討委員会の立ち上げ……110
6　NPO田老がまちづくり検討委員会に提出した資料……111
7　失われた津波文化……113
8　終わりに……116

B　宮古地域……118

第1章　崎山地区　米屋陽一

はじめに……118
1　崎山地区……118
(1)　松月……118
(2)　女遊戸……121
(3)　宿……127

(4) 崎山……130
(5) 箱石……133
2 崎鍬ヶ崎地区……135
(1) 大付……135
(2) 日出島……139
(3) 大沢……140

第2章　鍬ヶ崎・築地・愛宕地区　山東正昭

はじめに……143
1 鍬ヶ崎地区……143
(1) 鍬ヶ崎地区の概要……143
(2) 鍬ヶ崎地区の被害状況と津波浸水域……145
(3) 震災後の鍬ヶ崎地区……148
(4) 鍬ヶ崎地区の復興工事進捗状況……152
(5) 宮古市歴史・文化シンポジウム……155
(6) 鍬ヶ崎地区での聞き取り……157
2 築地地区……163
(1) 築地地区の概要……163
(2) 築地地区の津波浸水域……164
(3) 築地地区の被災状況……164
(4) 築地地区での聞き取り……164
3 愛宕地区……165
(1) 愛宕地区の概要……165
(2) 愛宕地区の津波浸水域……165
(3) 愛宕地区の被災状況……165
(4) 愛宕地区での聞き取り……166
4 今後の課題と展望……167
(1) 巡見と聞き取り調査から……167
(2) 民間伝承に学ぶ……168

第3章　被災者の証言　米屋陽一

1 日立浜町……170
2 熊野町……175
3 鍬ヶ崎上町……178
4 日の出町仮設団地……180

第4章　宮古市街地　杉本栄子

はじめに……189
1 新川町……190
2 向町……193
3 大通1～4丁目……210
4 中央通商店街……217
5 大通1丁目商店会……225
6 末広町商店街……229
7 新町……238
8 黒田町……243
9 消防団の活躍―八分団を一例として―……245
10 街の復興……249
11 まちを明るくする女性たち……252
12 町内会と自主防災の取り組み……255
まとめにかえて……257

第5章　藤原・磯鶏地区　谷部真吾

はじめに　―藤原・磯鶏地区の被災概要―……258
1　被災の記憶……258
(1)　避難の様子……258
(2)　特筆すべき避難の語り……260
2　被災後の暮らし……263
(1)　藤原比古神社にて……263
(2)　藤原小学校にて……264
(3)　磯鶏小学校にて……265
(4)　自宅に戻った人々……267
3　「日常」へ向けて……267
まとめにかえて……272

第6章　高浜・金浜地区における震災の経験　―住民の語りを中心に―　宮坂　清

はじめに……273
1　地区、および過去の地震津波の概要……273
(1)　地区の概要……273
(2)　地震津波の歴史……274
2　東日本大震災の概要……277
(1)　地震津波と被害の概要……277
(2)　公的な調査・対応の記録……278
3　地震津波の語り……280
(1)　概要……280
(2)　地震津波の当日……281
(3)　避難に関する考察……291
(4)　被災後の日々……297
(5)　未来に向けて……304
インタビュー……311

第7章　津軽石地区における震災の経験　―消防団・自主防災会・民生委員・避難所の活動と課題―　宮坂　清

はじめに……325
1　地区、および過去の地震津波の概要……325
(1)　地区の概要……325
(2)　地震津波の歴史……326
2　東日本大震災……328
(1)　地震津波と被害の概要……328
(2)　公的な調査・対応の記録……330
3　地震津波の語り……332
(1)　概要……332
(2)　地震津波の発生から避難まで……332
(3)　消防団の活動……338
(4)　自主防災会・民生委員の活動……347
(5)　避難所の運営と避難生活……353
(6)　生活の立て直し、復興への道……360
最後に……363

第8章　赤前地区（津軽石地区赤前）　伊藤好英・金　鉉哲

1　概要……365

2　地震直後の避難状況、避難直後の避難所での生活……365
3　復興状況と3年前の体験（大震災から3年）……371
4　大震災から4年半の時間を振り返って……374
まとめ……380

第9章　宮古地域の水産業

橋村　修

はじめに……383
1　宮古市における水産関係の被害……383
2　水産業界のリーダーとして……385

C　重茂地域……388

岸　昌一

はじめに……388
第1章　重茂地区の概要……389
第2章　重茂地区の災害……391
1　明治29年6月15日　午後8時　三陸地震津波……391
2　昭和8年3月3日　三陸津浪被害……391
第3章　「東日本大震災」平成23年3月11日　午後2時46分……392
1　組合員全員協議会……392
2　平成23年度重茂漁業協同組合通常総会……395
3　平成24年度重茂漁業協同組合通常総会……398
4　復興へのみちのり……409
5　復興事業についての語り……412
第4章　重茂各地域の方々の聞き取り……416
1　北地区……416
2　音部地区……418
3　重茂地区……421
4　南地区……423

D　それぞれの震災……436

久保田滋子

1　スイスで想う「ふるさと宮古」……436
2　鳥もと災害バスターズ……437
3　変わりゆく宮古……437
4　震災直後の食料品スーパー……438

第2部　各分野での震災後の取り組み

第1章　医療の現場から　命を見つめて
―東日本大震災・三陸大津波と医療従事者たちの戦い―

中嶋奈津子

はじめに……442
1　宮古市における被害状況……442
2　岩手県宮古保健所の決断と行動……444
3　保健師の実践……447
4　医師会の選択……455
5　暗闇にともり続けた希望の灯り……457
6　隣接山田町の医療状況と、宮古後藤医院との連携……460
7　支援者支援の立場から……461
8　臨床心理士として……465
9　医療従事者と私人との狭間で……469
終わりに……472

第2章　宮古医療圏におけるDMATの活動報告

岩手医科大学医学部災害医学講座教授　眞瀬智彦

1　岩手県庁DMAT調整本部……475
2　岩手県立宮古病院被災状況……475
3　DMAT宮古医療圏での活動……475

第3章　障がい者・高齢者をめぐる取り組み

池田しのぶ

はじめに……477
1　宮古市における福祉の概況……477
(1)　高齢者および障がい者の概況……477
(2)　被害の概況……477
2　要介護者、障がい者、家族の避難と避難生活……478
(1)　高齢者世帯……478
(2)　家族が同居しているケース……480
(3)　一人暮らし……484
3　福祉施設における震災当日の状況と経過……485
(1)　高齢者の事業所……485
(2)　障がい者の事業所……493
まとめ……499

第4章　子どもを守る取り組み

猿渡土貴

はじめに……500
A　その時、どうやって子どもを守ったか（保育所・幼稚園編）……500
1　千鶏保育所では……500
2　津軽石保育所では……503
3　愛宕保育所では……506
4　小山田保育所では……507
5　赤前保育園では……509
6　宮古保育園では……510
7　そけい幼稚園では……511
8　商業施設「キャトル」内「つどいの広場すくすくランド」では……512
9　田老地区の状況……513
10　避難の必要がなかった施設では……516
B　その時、どうやって子どもを守ったか（小学校編）……518
1　鍬ヶ崎の状況……518

2 高浜・金浜地区の状況……522
3 学校再開に向けた取り組み……526
C 子どもの生活を取り戻すために……531
1 避難所を出て転々とする……531
2 グリーンピアでの避難所生活……531
3 浄土ヶ浜パークホテルで……532
4 スクールバス問題を巡って……534
5 瓦礫の中の自宅で暮らす……535
6 津軽石での避難所生活……536
7 震災が子どもに与えた影響と心のケアについて……537
D 避難体制の確立と防災教育の大切さ……539
1 小さな子に向けて……539
2 小学校における防災教育……542
E 地域とのつながりを防災に役立てる……549
1 地元の人の声掛けが命を救った……549
2 地域と学校とのつながり……550
3 地域の方々との日ごろの交流があってこそ……550
4 「おらほの学童の家」と思ってもらえるように……551
5 消防団の力を借りる……552
おわりに……552

第5章 女性の活躍 神田より子
はじめに……554
1 婦人防火クラブ……554
2 婦人消防協力隊……558
3 女性消防団員……559
4 保健師……561
おわりに……563

第6章 公的な支援体制 神田より子
1 消防団……565
はじめに……565
(1) 消防団員の3・11……565
(2) 各地区での消防団員の活躍……566
(3) 消防団員としての動きのまとめ……573
(4) 消防団員の行動を考えてみる……575
2 消防署……577
はじめに……577
(1) 緊急消防援助隊等活動状況……577
(2) 宮古消防署員の活動……578
(3) 田老分署……580
(4) 川井分署……585
(5) 新里分署……587
おわりに……588
3 警察署……589
はじめに……589
(1) 宮古市の場合……589
(2) 宮古警察署管内警察官の方々の手記……592
4 自衛隊……594
はじめに……594
(1) 東日本大震災への自衛隊の対応……594
(2) 宮古地域での自衛隊の対応……594

(3)　自衛隊員の方々の手記……601
おわりに……602
5　海上保安庁……603
假屋雄一郎
はじめに……603
(1)　宮古湾における海上保安庁の主な対応……603
(2)　宮古海上保安署職員の方々の手記……603

第7章　災害廃棄物の処理
阿南　透
はじめに……607
一般廃棄物の処理……607
瓦礫の撤去……607
仮置き場の設置……608
災害廃棄物の処理……608
水産廃棄物の処理……611

第8章　ボランティア活動とその課題
久保田滋子
はじめに……612
1　社会福祉協議会の取り組み……612
(1)　ボランティアセンターの立ち上げ……612
(2)　宮古市生活復興支援センター……614
(3)　ボランティア受け入れの問題点……614
(4)　ボランティアに参加して……615
2　カリタスの取り組み……622
(1)　カリタスジャパン……622
(2)　宮古における札幌カリタスの活動……623
(3)　ボランティアに参加して……625

第9章　自治体の相互交流と援助体制
―宮古市と品川区の交流から災害時相互援助協定へ―
杉本栄子
はじめに……635
1　「目黒のさんま祭り」と宮古のさんま……635
2　品川区の取り組み……637
3　「みゃっこ隊」を組織する……639
4　小学校PTAの支援活動……640
おわりに……641

第10章　観光の被災と復興
藤野陽平
はじめに　―宮古の観光の被災状況―……643
1　宮古観光文化交流協会……645
(1)　イベントの一例として　浄土ヶ浜まつり……646
(2)　学ぶ防災……648
(3)　浄土ヶ浜レストハウス……650
2　三陸鉄道……653
(1)　被災から全線復旧……653
(2)　復興に向けた取り組み……654
(3)　寄せられた支援……656
3　岩手県北バス、岩手県北観光……657
(1)　地震直後……657
(2)　岩手県北観光の復興ツーリズム……658

4　三陸復興国立公園と三陸ジオパーク……660
おわりに……661
2011年3月から2014年4月に行われたイベント一覧……663

第11章　被災し／支援し／復興する宗教　藤野陽平

はじめに……667
1　宗教の被災状況と支援活動……667
A　エホバの証人……667
B　創価学会……668
C　長根寺……672
D　天理教……674
E　宮古コミュニティ・チャーチ……676
F　末日聖徒イエス・キリスト教会（モルモン教）……679
G　立正佼成会宮古支部……680
2　宗教系団体の支援……681
A　YMCA宮古ボランティアセンター……681
B　キリスト教のCCMNからNPO法人「with you global あなたとともに」へ……684
C　台湾仏教慈済基金会（慈済会）……686
3　被災から復興へむかう日本基督教団宮古教会　伝統と被災との先に……688
おわりに……693

第12章　外国人の被災経験　藤野陽平

はじめに……696
1　宮古に住む外国人……696
2　外国人の被災経験……697
3　身を寄せ合った外国人たち……698
4　背景としてのオーシャンズ宮古国際交流倶楽部……702
おわりに　「住めば宮古」は誰のものか？……705

第13章　被災した芸能と復活

Ⅰ　法の脇鹿子踊りの被災と復活（津軽石法の脇）　俵木　悟……707
はじめに……707
1　法の脇地区の被災状況……707
2　津軽石稲荷神社の祭礼と法の脇鹿子踊り……707
3　津軽石稲荷神社の祭礼の再開……709
4　法の脇鹿子踊りの被災……710
5　「復活を焦らない」という選択……710
6　津軽石中学校の郷土芸能……711
7　復活への始動……713
8　踊りを「地域のものにする」……714
9　「歴史」をつなげる踊りと神社……715
おわりに……717

Ⅱ　陸中沿岸地方と芸能による地域再生　神田より子……718
はじめに……718
1　黒森神楽衆の被災状況と震災後に加入した若い神楽衆……718
2　黒森神楽の宿の被災と復興……720
3　震災後の神楽の巡行……721

4　被災地代表としての黒森神楽……725
5　日常を取り戻すために……730
6　神楽が期待されたもの……731
まとめにかえて―今後の課題―……731

第14章　震災と暮らしの移りかわり　久保田滋子
はじめに……734
1　染物職人　加賀屋……734
2　船大工　復幸造船所……737
3　船大工　前山造船……740
4　鍛冶職人　佐々禎鉄工所……741
5　下駄職人　関口履物店……743
6　菓子職人　小野寺餅店……745
7　鋸刃職人　満山鋸刃物店……746
8　櫓大工　三浦櫓櫂店……747

第15章　海外メディアの東日本大震災に対する報道
Ⅰ　海外メディアの宮古市への取材……753　假屋雄一郎
Ⅱ　中国メディアの東日本大震災に対する報道……753
―『人民日報』、『四川日報』を中心に―　何　為民
はじめに……753
1　宮古調査のはじまり……753
2　『人民日報』と『四川日報』の報道内容……755
(1)　これまでの報告内容……755
(2)　『人民日報』と『四川日報』を選んだ理由……756
3　2つの新聞紙の報道内容について……757
(1)　地震後の『人民日報』と『四川日報』……757
(2)　東日本大震災の周年について報道しているのか……759
おわりに……760

◆協力者……761
◆執筆者……763
◆宮古市東日本大震災記録編集委員会……764